柏ビレジ・ニュース

柏ビレジ自治会発行

2004年3月13日

自治会事務局（自治会館）
TEL. 7132－1925
FAX. 7132－1965

杵と臼でほのぼのと 170Kgのもち、ペロリ

実行委員長　中鉢　貴美子

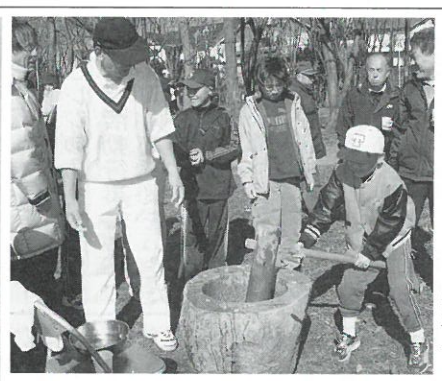
お正月気分もさめやらぬ一月十一日、近隣公園で柏ビレジ恒例のもちつき大会が今年も行われました。心配されたお天気も、時折強い風が感じられるものの雲ひとつない晴天に恵まれた絶好のもちつき日和です。

私は二年前にこちらに越してきたものですから参加させて頂くのも初めてで、そんな私がこのような役割を果して出来るものかどうかと不安ばかりが先に立ちました。前日に百七十キロもの餅米を洗ったり、七十本もの大根を処理するなど、皆さんの団結力とエネルギーやその規模の大きさにただただ驚くばかり。

今では珍しくなった杵と臼を使ってお餅をつき、御家族で写真を撮ったり、お餅を食べたり、ケン玉をして遊んだりとそれぞれ皆さんが楽しんでいらっしゃる様子を目にすると、お餅まみれの忙しい作業の合間にもほほえましくほのぼのと心温まるものがありました。

もちつき大会の経験のなかった私が何とか無事に役割を果し終えた今、大変ではありましたが皆様に支えられてとても楽しい思いをさせて頂きました。本当にありがとうございます。御不満な点も多々おありかと思いますが、何とかお許し頂いて到らぬところは来年につなげていって下さればと願っております。

最後にご参加ご協力下さいました多くの方々に心よりお礼を申し上げたいと思います。



花の井保育園での文化交流始まる！

平成15年4月に、ビレジの地に、花の井保育園が開設されて早11ヶ月を経過致しました。保育園と地域の交流を図る事が、懸案になっておりましたが、10月に自治会及び新樹会の方々等と意志確認及び具体的な方法等の打ち合せを実施致しました。結果、左記の要領にて交流事業を立ち上げました。

Ⅰ園が主催し実施する交流

(1)日本舞踊教室

木曜日（第2・第4）

時間　午前10時～11時

(2)茶道教室

木曜日（第1・第3）

時間　午後2時～4時

Ⅱ保育園のプレイルームの貸し出し

保育園のスケジュールにより、空いている時間帯を地域のサークル等へ貸し出しします。

☆利用料1時間500円

3ヶ月単位で利用申込みをして、登録をする。その他利用規約があります。

以上、詳しくはお問い合わせ下さい。

社会福祉法人　千草会

花野井保育園

TEL7135－7010

日本舞踊教室について

指導　市山流教授　市山竹紫郎氏

◇市山　竹紫郎　氏

プロフィール

一九五二年十月生。

初世市山松十郎の次男として生まれる。四歳の頃より舞台を踏む。六世家元市山松扇師、花柳宗岳師、現花柳寿美師、父故市山松十郎に師事して、現在に至る。現在は父の「秀扇会」を兄の扇之助と主宰、弟子の育成に当たる。歌舞伎座、国立大劇場、新橋演舞場、明治座 等に 出演。日本舞踊の枠にとらわれず、洋舞、声楽等、とも共演。

日本舞踊協会東京支部中央ブロックを経て、現在は日本舞踊協会千葉県支部会員。

市山流とは、

今、市山流で流祖としている人は、長唄「越後獅子」を振り付けした人です。市山流も途中、途絶えておりましたが、その流れを汲む市山小直 門下の市山松翁（しょうおう）が昭和24年に江戸家元として再興、28年松翁没後、長女が市山松扇を名乗って五代目家元、松扇から34年には二代目松扇となり、同時に長男を六代目家元としました。八世松本幸四郎の部屋子であった松本松之助です。市山流は、歌舞伎舞踊の流れを汲む流派です。

茶道教室について

指導　表千家教授　井口宗光氏

◇井口　宗光　氏

プロフィール

一九四六年柏市生まれ、戸張在住。東京女学館短期大学文科卒業。柏文化連盟会員・柏茶道協会会員。一九八七年茶室「和楽倶楽部」開設。表千家茶道教授、和装コンサルタント。

散髪した樺並木

昨年、樺街路樹に関する要望書（電線に樺の枝が絡み音がうるさい。落ち葉により、樋が詰まる。樺が大きくなりすぎて家が日陰になる。樺の根が成長しすぎて、地盤がゆるみ、バスが通る度に地震の時のように激しく家が揺れる。害虫が多い等々）が、市に提出された結果、12月から1月にかけて樺の剪定と間引きが行われました。景観的には、ザンギリ頭になった樹々を見て、ショックを受けた方もあるでしょうが、樹のそばに居住されておられる人には、ひとまずホッとされた事と思います。緑のトンネル、夏の木陰、秋の紅葉等の楽しみは消えましたが、視界が広がり明るくなりました。

もち米を蒸して 準備ＯＫ！

「簡易保険料団体払込制度」に認可される

今般、柏ビレジ自治会は日本郵政公社の「保険料団体払込制度」の地域団体として認可されました。

これまで、制度の見直しにより凍結されていましたが、ようやく認可が下り、柏ビレジ自治会員の皆様に本制度の利用が可能となりましたので左記のとおりお知らせします。

1、簡易保険料団体払込制度とは

柏ビレジ自治会規約・細則－9

町会・自治会などの団体に所属する者が保険契約の毎月の保険料を、団体代表者を通じてまとめて郵便局に払い込む場合、保険料の一部が割引かれるという制度です。

2、簡易保険柏ビレジ団体への加入資格及び加入方法

(1)　加入資格

①柏ビレジ自治会員で柏ビレジに居住していること。

(2)　加入方法

①新規に加入する場合は、簡易保険の契約手続き時に団体払込とする旨をお申し出下さい。

②現在、簡易保険料を自動振り替え等で収めていて団体払込に変更を希望する方は柏郵便局第二保険課又は、郵便局窓口にお申し出下さい。

③新規契約若しくは変更手続きをする場合には、街区番号と電話番号を明記してください。

(3)　保険料の納付方法について

①保険料は、毎月左記の担当者が集金に伺います。

3、団体名および集金担当者

(1)　花野井地区の団体名「簡易保険柏ビレジ団体」

集金担当　鳥居則子

手鹿路子

(2)　大室地区の団体名「簡易保険柏ビレジ第二団体」

集金担当　宮沢陽子

菊地裕子

◎簡易保険についての詳細は、柏郵便局第二保険課（Tel 7164－4751）若しくは郵便局窓口にお問い合わせ下さい。

第23回 柏ビレジ定時総会

日時　4月18日(日)　PM1～4時

場所　花野井小学校体育館

自治会活動へ積極的参加を

防災部　佐藤　三千男

ビレジに居住して十七年になりました。この間夏祭り、餅つき、に二人の子供と何回も参加させていただき楽しく時間を過ごさせていただきました。が・・・それは一住民としてで、その環境作りをしていただいたのが柏ビレジ自治会でありました。就任当初は家内がお手伝いする予定でおりましたが、最初の役員会で家内が男性役員の人数が少ないので「あなた自治会のお手伝いをしたら?」の一言で、自治会役員をさせていただくことになりました。なるほど実際に役員として活動をしてみると力仕事が多いのと男手が少ないことにビックリしました。

また文化祭では住民の方々の多彩なそしてアカデミックな作品を初めて拝見し繰り返し見入ってしまい、しばし役員としての職務を忘れ、感激した次第です。

自治会役員としての役職は防災部でした。この活動のなかで感じた行事がありました。それは全役員共通の実感だと想いますが昨年末から新年にかけての夜回りでした。役員はもとより多くの住民に参加していただきグループで受け持ち街区を巡回したことで、皆さん防犯への意識が高く巡回中にビレジの防犯や防災また自治会活動行事について様々な意見又提案をいただきこのような住民意識のかたまりがビレジの住環境をより一層良くするものだと実感しました。

自治会活動行事に参加してみて、役員皆さん一人ひとりが大事な時間をさいて活動していただいたことが実りある行事へつながったことだと思うとともに、今後ますます住民皆さんの自治会活動への参加を積極的に考えていただきたいと思います。

最後に歴代の会長をはじめ現会長の献身的なご努力と役員経験皆さんへ感謝を込めて御礼をする次第です。

平成十六年二月八日

住みよい環境づくりへの努力

環境部　藤野　益子

環境部副部長をひき受けてから一年がたちました。早いものです。六月には手賀沼の見学、生活環境を保全するために各家庭で、浄化対策をすれば排水による汚れの約三十パーセントを取り除くことが出来るとの事、食器の油よごれは紙などでふき取って洗う事、流し台に三角コーナーにろ過紙をセットする、調理くずや食べ残しは流さない事。洗濯は石鹸を決められた量を使用する事、くず取りネットを付けて糸くずなど回収する事などです。

柏リサイクルプラザ見学、生活と再生工場の橋渡をして資源品はやがて新しい製品に生まれ変り生活で活かされている資源循環型社会人の生活と自然環境との調和を目指した施設です。

心に残った事は年末年始御多忙中のところ時間をさいて夜間パトロール実施に多数の方の参加のもと目標にむかっての協力があった事です。この期間中事件がなかった事、また今後実施されます事を望みます。

世の中「不安的要素」が多く何が起こっても不思議でない環境です。横との連絡を密にして不審者をみかけたら警察に通報する事、たすけあいの心を大切に住みよい環境で生活出来ることを願っています。

楽しかった子供会活動

子供会　落合　卓子

一年間子供会の副会長という仕事をして一番良かった事は、いろいろな方と知り合えた事です。

会長の松本さんをはじめ、人に恵まれたと感じる一年でした。

活動を始めるにあたり、多くの人が、「どうせやるなら楽しくやりたい。」と言っていた通り、行事が終わる度、「結構楽しかったよねぇ。」と笑顔があふれていました。

計画や準備など、大変な作業をしながらも、いつも笑い声が絶えませんでした。

私自身は、うっかりしてたり、抜けていたりと、甚だ頼りない副会長でしたが、皆さんのお陰で、無事に、そして、本当に楽しく仕事ができました。

力を合わせる事の大切さ、すごさを、改めて実感しました。

皆さんには、ひたすら感謝です。

また、毎月の自治会役員会では、いろんな意見を伺っていて、「自分の住む街は、自分達で住み良くしていくんだ。」という、あたり前の事を考えさせられ、そしてそれが出来るという手ごたえを感じ、柏ビレジの未来は、一人一人のちょっとした意識にかかっているんだなと、つくづく思いました。

決して他人まかせでなく、自分に出来るちょっとの力を惜しまずに、自分達の街柏ビレジを、より住みやすい街にできたらいいなと思います。

最後にもう一度、この役を通して知り合えたすべての方に、心から感謝し、そしてお礼を申し上げます。

ありがとうございました。

図書室だより
新着本コーナーが出来ました

柏ビレジの近隣センターに、図書室があるのをご存知ですか?

私達、図書ボランティアが運営している私設の図書室です。このビレジができた時に東急不動産が作ってくれたものです。その後、他の図書館や住民の皆さんからの本の寄付で少しずつ充実してきて、現在に至っています。

ただ、何分にも予算が少なく、新しい本を購入するのに苦労していましたが、ここ何年か、自治会からの補助や、古本市等で、新しい本も段々増えてきました。

今年から「新着本コーナー」を設けて、話題の新刊本等もできるだけ揃えていきたいと思っています。

リクエストも受け付けていますので、皆様からのご希望やご意見等を、是非、お寄せ下さい。

又、本の寄付もお待ちしています。

◇図書室まつり(かるた会)

ビレジ恒例のお餅つきの日、今年最初の〝図書室まつり〟が開かれました。

お子さん達は、かるたや自分達で作ったすごろくで遊び、大人の方達は百人一首で楽しみました。

皆さんも、来年は参加してみませんか?

〈お願い〉

○この図書館は私設ですので、柏市の他の図書館で借りた本は、返却できませんのでご注意下さい。

○本の寄付は、前もってご連絡をお願いします。

(TEL 7133-7680　湊まで)

役員二年間を振り返って

事業部　土門　範秀

柏ビレジに転居してきてちょうど丸三年間になります。以前より近隣に居住しており、街の景観の素晴らしさ、盛大な夏祭り等を楽しみに転居して来ました。

その二年間を自治会役員として過ごして参りましたが、一番の出来事としては、やはり夏祭りの打ち上げ花火の中止です。様々な諸事情があり止むを得ない事ではありますが、自治会役員の任期中での中止決定は心残りでなりません。

また昨年末に初めての試みとして行われた夜間パトロールでは住民の方々の関心の高さもあり犯罪の激減という結果は、非常に満足出来るものでした。

今後も柏ビレジ自治会員として各種行事、住民活動に時間の許す限り参加し、住み良い街づくりのご協力を少しでも出来ればと考えております。

多くの田中地区行事に参加

田中住民協議会運営委員　深澤　栄子

田中住民協議会は二十の地区・町会からなり、その中の一地区が柏ビレジ自治会です。

自治会役員から三名が任命され、協議会広報として、この一年活動してまいりました。

集会や行事準備、又年三回の広報「ふれあい田中」の発行とあって出席する機会も多く中でも運動会・文化祭・たこあげ大会等は、前日からの準備と当日は早朝六時集合と大変ハードな仕事でもありました。

幸い皆さんが率先して協力しあい和気藹々とすごせたことで、当初の不安もすぐになくなりました。

今迄、他の地区の方々と接する機会がなかった私にとって、この経験は忙しい中でも楽しい思い出の一年となりました。

地域の皆様との出合いを大切に

総務部　郷　みち

これまで地域の事にまるで無頓着に過ごして来てしまった私でしたが、この一年間の自治会の仕事を通して、これまでの役員の方々のご苦労を身を持って感じる事となりました。何も分からないままに始まってしまった各行事の仕事も、流れと共に各担当役員の方々と一緒に無我夢中でこなしてまいりました。どなたも手際の良さは見事な程で、仕事をこなす様は驚くばかりでした。その際、前役員の方々のご協力を得ました事も心から感謝致しております。

今思えば私自身、あれもこれもと反省する点が多々ありますが、一つの行事が終るたびにほっと胸をなでおろし、久し振りに感じた緊張感も解かれた時は新鮮ささえ感じられました。

このような皆様との出会いを大切にして、今後もより親睦を深められたらと願っております。一年間本当にお世話になりました。

夜間パトロール大成功!!
―住民の協力で犯罪ゼロのビレジに―

例年年末年始にビレジ内の犯罪が増える為、自治会は新しい試みとして昨年末から今年始めにかけて住民有志百三十四名による夜間パトロールを実施しました。そして住民の協力のもと期間中犯罪ゼロという結果を得ることができました。

年末年始夜間パトロールを実施して

自治会長　押田英雪

昨年十二月二十一日から今年一月十七日まで実施しました夜間パトロールにご協力を賜りました皆様には厚くお礼申し上げます。

既に回覧でお知らせしましたがパトロール実施期間中の空き巣・車上狙い等の被害報告は一件もなく無事に終了することができました。

日常は会話を交わすことが無いご主人方が参加され、グループ単位に別れ担当支部を巡回しながら防犯・その他のご意見等を伺うことができ、更に昼間では気が付かない夜間のビレジを検証する事ができ、有意義なパトロールでした。

参加された皆様のご意見で多かったのは、迷惑路上駐車禁止・門灯点灯の徹底協力を住民にアピール強化しては!今回限りでなく今後も実施しても良い等、協力的なご意見です。

この一年を省みますと防犯対策に傾注した年度でした、犯罪抑止目的の立て看板設置・防犯灯新設・改修の増強・ビレジニュース・回覧で防犯関連情報提供・小中学校との連携強化の実行、具体的には子供一一〇番設置の協力・学校だより・不審者情報等の回覧協力・昼間パトロールの実施協力（新樹会様に協力依頼）

ご協力ありがとうございました。

自治会は今後も継続課題とし防犯対策に取組んで行きます、安心して暮らせる街づくりに、自治会員の皆様のご支援ご協力をお願い申し上げます。

一年を振り返って

第三支部長　増田純一

自治会の支部長を引き受けてほぼ1年が経ぎた。定期的な配布物の処理などの役割が中心の支部長には、本部の行事でも結構出番が用意されている。地区運動会に、夏祭り、文化祭、正月早々のもちつき大会などなど。その時々の参加者も昔の思い出を持ち寄って行事を作り上げていこう、そんな意気込みが感じられた。

初めて実行した年末年始の夜間パトロールには、有志が134人も集まった。業者委託の巡回パトロールもあってか、犯罪抑止の面では大成功。前年15件あった空き巣などの被害を0件に抑え込めたという。住民パワーの勝利といえようか。

ビレジの活性化を若者達に期待!

第八支部長　岩崎郁子

今年度の八支部は、緊急課題であった空き巣防止対策として田中幼稚園斜面下側道への不審車進入防止用の車止め設置、また長年の課題であった一ケ所約六十世帯が集中する資源ゴミ集積所のアンバランス解消として資源ゴミ集積所三分割設置と、多くの皆様の御理解と御協力を得て御蔭様で無事実施する事ができました。改めて厚く御礼申し上げます。ゴミ集積所について市役所の話では、ビレジのような住宅地では不法投棄防止の目的で常設を避け住宅前の設置にしているとのことですが、夏祭りでゴミ担当をした折に応対した若者や子供たちは皆快い態度で自ら進んでゴミ分別に協力してくれたのに比べ、中高年特に男性にビールの飲み残しの紙コップを平然とプラスチックゴミの方へ捨てるなどマナーの悪さが目立ちました。ゴミ問題へのモラル意識が高まればドイツ方式等への改善も進むのではないでしょうか?

二十数年前販売開始直前のビレジは二支部の一部を除いて荒涼とした砂漠のような造成地でしたが、今ではビレジは、その成り立ちからして、住宅の購入を機に移り住んだ人も多かろう。自分たちで街を築き上げてきたという意識が希薄なのは否定できない。だからこそ、機会がある度に町内のネットワークを点検し、機能させる不断の努力が欠かせないだろう。

自衛策として夜間パトロール継続を!

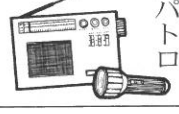
第一支部　山浦憲紘

昭和58年入居以来、早いもので約20年が経ち柏ビレジは自然に恵まれた愛着を感じる成熟した町になりました。その反面入居時の活気や、にぎやかさがちょっと薄れ、やや元気のない町だなと思うこともあります。

最近、新聞・テレビのニュースではますます凶悪化する強盗・引ったくり・放火事件や変質者による幼児児童などに対する嫌がらせ犯罪等が報道され、治安問題は今日の大きな社会問題と成っております。

そんな時、自治会の呼びかけに応じ「夜間パトロール」に参加し、柏ビレジのセキュリティーにも不安を感じました。それは柏ビレジ住民の高齢化、子供達の独立別居による青年層の減少、個人中心的な日常生活様式や、加えて柏ビレジの袋小路的なロケーションが治安の維持に大きな弊害に成ってはいないかと言うこともあります。

近隣自治会でも、自衛的パトロールを実施している現状で、柏ビレジにおいても住民が一丸となって自己防衛的な自衛策を検討することが急務だと思います。少なくとも「夜間パトロール」は引き続き継続して行きたいと思います。



住民の防犯意識向上を実感!

第四支部　檜垣篤夫

「カッーチカチ」「火の用心」これは子供の頃の冬の夜の風物詩だ。時代が変わり世情が変わって、この年末年始、我がビレジの夜間パトロールが行われた。空き巣を防ぐ狙い。ならばと軽い腰を上げてパトロール隊に参加した。拍子木を自前で用意してきた人、パトライト棒を持つ人、強力懐中電灯を持つ人、夫々が完全防寒スタイルで、役割と担当巡回地区を確認して、イザ出陣。拍子木が小気味良く街並に響く。自然に大昔の子供会の頃が思い出される。メンバー共通の思い出。それにしても、がんじがらめの今の子供達は可哀想だねー　と。

さて巡回して色々と気付く。向う三軒両隣、門灯が全く点いていない並び、逆に全戸点灯の並び。好ましかったのは門灯と玄関灯が揃って点いている家。空巣君は絶対に避けると感じた。人の気配で点灯するセンサー灯も効果がありそうだ。

勝手口に灯が点いて「ご苦労さまー」と奥さんの声。拍子木の響きに一段と力が入る。寒さは何処かへ吹飛んで、少々汗ばんできた。一巡りして自治会館に戻る。婦人役員さんが用意してくれたお茶の温かさ。これこそ心を通わせた二重の温かさだ。

この間、被害届けが無かったという。夜中のプロのパトとの相乗効果だけではなく、住む人同士の連帯感からの防犯意識向上が大きかったのではないかと実感した。やがて春、人の心も緩んでくる。ビレジの桜が開く頃、夜間パトロールが、又望まれるかも知れない。

自治会の大切さ・住民の意識の高さを実感

第六支部長　堀恵子

支部長という大役をお受けしてから、右も左もわからないまま、さまざまな行事に参加し、そして回覧の配布と日々おわれてきましたが、早や一年が過ぎようとしています。

この役を経験させていただいたことでビレジの中の出来事がより身近に感じられ、他の支部で起きるいろいろな問題を皆で考える時間を共有できたことはとても意義のあることでした。また自治会の大切さ、住民の方々の意識の高さを感じると共に、役員の皆様の御努力も大変なものであることもわかりました。

たくさんの方々と、ふれあうことができ、ビレジでのつながりの輪が広がったことも、嬉しく思っております。班長さんや支部の皆様の御協力、ありがとうございました。

ア・カペラで入賞!

埼玉アンサンブルコンテストでアンサンブル・プリムラが銀賞・教育長賞を受賞。

会員名簿発行

今年は自治会、会員名簿の改訂版を発行する年度になります。自治会でアンケートをとった結果、載せるのを拒否した人が、二〇六名（一三%）でした。

一応の方針として、拒否された方は載せない。又、会員名簿の配布は選択出来る。この主旨の事をこの二〇六名の方に再度説明し（アンケート形式）確認をとる事としました。

多くの大会で活躍・好成績

発足20周年の花野井サッカークラブ

一九八四年に発足したクラブも今年で二〇周年を迎え、現在六十六名の部員と十一名のボランティアのコーチで活動しています。日曜・祝日は花野井小校庭で九時から一時まで、第一・第三土曜は中学校予定地で九時半から十二時まで、練習をしています。十一月には、部員募集も兼ねてミニサッカー大会を主催し、ゲーム終了後焼そばを食べたりしました。一月には、親子サッカー。子供対親の試合です。最初は手加減しているのですが、ついつい本気になってしまい、子供を倒してしまったり、高学年になると、子供達にはかなわなくなります。夏休みには、子供達が楽しみにしている高学年を対象とした一泊二日の合宿もあります。ほとんどが練習試合で、普段対戦することのない柏以外のチームと対戦できます。夜もレクリエーションで盛り上がります。

いろいろな大会にも参加しています。昨年は、かむかむカップで二年生が優勝し、大きなトロフィーを頂きました。五年生は、春の柏リーグで三位。秋の市民大会でも、PK戦の末、勝利し、三位になりメダルを獲得しました。六年生は、東葛リーグで決勝リーグまで勝ち進みました。勝利にはこだわらないといいつつ、やっぱり勝利はうれしいもので、練習にも応援にも力が入ります。サッカーを一緒に楽しむ仲間を募集しています。いつでも練習に参加できますので、是非来て下さい。また、ボランティアのコーチも大募集しています。サッカーの経験はなくても大丈夫です。体を動かすことが好きな方、お休みの日、子供達と一緒にいい汗をかきましょう。

◇連絡先・菊池
七一三一―八五一七

大きな声、素直さ

花野井剣友会・指導方針

柏ビレジ自治会の皆様には、ご理解とご支援賜り、今日まで続けて来られた事に深く感謝いたします。

花野井小学校開校、まもなく、ビレジの父兄が中心となり子供達に剣道を習わせたいとの熱意が高まり、吉川正則先生を指導者とし花野井剣友会が誕生しました。当初は、一年生から六年生まで大勢の豆剣士が中心でした。週一回、日曜日の稽古、他の二団体との時間調整で、開始時間がまちまち、その他、多くの問題もあり苦労いたしました。

指導方針は、大きな声を出し、素直な気持で、諦めず、集中力と勇気を持って、自分から積極的に稽古する事、基本を重視した正しい剣道を繰り返し指導しています。柏市民剣道大会では、個人戦、団体戦とも上位入賞、優勝の経験もあり、おおいに活躍しております。

指導者数も増え、資質も向上し近隣からの参加者も有り、小学生から大人まで、大勢の仲間と、気持の良い汗を流しております。姿勢、礼儀が正しくなり、集中力や積極性、忍耐力、体力も向上します。

消火訓練実施

消火訓練が十二月十三日（日）近隣公園において柏消防署田中分署の隊員の指導のもと三十人ほどの会員が参加して実施された。

消火訓練風景

第12回連盟杯争奪 4位入賞・ボーイング

二月の中旬と言えば、そろそろ「六年生を送る会」を企画している頃だが、今年のボーイングに六年生はいない。五年生もいない。

土日になると、ビレジ球場いっぱいに元気な声を響かせているのは、十一人の四年生と下級生たちだ。最近では少子化の影響もあって、一学年で一チーム作れるだけの人数がなかなか集まらないのがどのチームにとっても悩みの種だが、ここだけは違う。この一年、ボーイングは四年生以下の低学年チームとして戦ってきた。その総仕上げとなった第十二回連盟杯争奪低学年秋季大会では柏で四位になった。ここからは高学年としての戦いになる。つまり、この一年は新五年生として新六年生が主力のチームと勝負していかねばならないということだ。大人になってしまえば、一年の違いなどほとんど何の問題にもならないが、小学生のこの時期の一年には大きな開きがある。試合の始めに審判の前に整列すると、相手チームよりちょうど頭ひとつ分小さい。しかも選りすぐったように痩せている。子供達の稽古に励む可愛い姿を是非ご覧下さい。

入会、見学随時
花野井小学校体育館
日曜日　九時から
土曜日　一七時から
入会金　二千円
会費　半年分七千円
対象者　小学生～大人
剣道具等のリサイクル有
連絡先　永井正男
TEL七一三一―五六四一

「RICEの法則」の紹介

柏ビレジ接骨院　菅家宏明

菅家院長

春になり暖かくなると、外出やレジャー、スポーツ等の機会も増えてきます。動きが多くなると予期せぬケガに見舞われる事があります。その様な時、このRICEの法則、応急手当ての基本を憶えておくと必要以上に慌てず対処する事が出来ると思いますので紹介致します。

RICEのRはレスト（安静）、Iはアイシング（冷却）、Cはコンプレッション（圧迫）、Eはエレベーション（高挙）、の応急手当ての基本の頭文字を取ったものです。

外傷を負った時、まず局所の安静が保てる様に出来れば心臓より高い位置に保持し、適度の圧迫を加えながら冷却する。これが原則となります。注意点としては、安静とはケガをした箇所の安静を保つ事です。移動の際もケガをした部位を動かさない事が求められます。アイシングでは、氷もしくはそれに準じた物を使用しますが、0℃以下のものは凍傷を起こし易いので、出来れば0℃より高い物を使用して下さい。目安として、氷は手にくっついてしまう様なものは0℃以下と考えて下さい。水洗いをするとか、少し放置して溶け始めてから使用する方が安全です。溶け始めた氷であれば、30分から60分間冷やしても差しつかえありませんが、部位によって時間の調節が必要です。通常は、15分から30分間が適当と思われます。圧迫は、ほど良さが求められますが、痛みが増したり、出血がある場合は特に注意が必要となります。高挙は、あくまでも出来れば、という意識で良いと思いますが、心臓より高くを心がけて下さい。

以上がRICEの法則です。ケガの治癒にはその程度により長短がありますが、特に受傷後一週間が大切な期間です。この間に腫れをいかに速やかに消退させるかが、その後の回復に大きく影響を及ぼして来ます。ですからこのRICEは、応急手当ての時だけではなく、ケガの受傷後少なくとも一週間程は心がけて頂きたいと思います。

さて、ケガの治療で皆さんがよく使用される湿布ですが、冷湿布も温湿布も鎮痛消炎の効果があり、ほぼ一緒と考えて頂いてよいのですが、腫れや熱感のある時は冷湿布を、慢性的な痛みには温湿布を使用するのが一般的です。

ケガは、体調が良く、スムーズに体が動いている時に多く発生します。充分に気を付けて、これからの楽しい季節をお過し下さい。

水辺の公園の自然

その3　相澤忠郎

水辺の公園周辺は利根流域と関東ローム台地の境界地区で、この付近では菅生沼、古利根川、手賀沼等の自然環境と同じです。池とその周辺は公園化の為、地形と樹木類は総て人為なのですが時間の経過で安定化するはずです。小動物、昆虫類、草類、その他がそれぞれの連携でエコロジーが形づくられるのです。小動物で観測される種はタヌキ、イタチ、ノウサギ、キツネ、（ビャクビシン）等で、キツネは河川敷です。なお東側の池端で水面を泳ぐ齧歯類と思われる小動物がごくまれにみられます。のら犬、猫は時々散見されますが長く生きられないようです。前回の鳥類で説明しましたが留鳥、漂鳥、夏鳥、冬鳥はこの地区での標準です。問題は魚等の水生動物です。この池は人工であり水源は雨水と湧き水なので所謂封鎖系です。建設当初に鯉を放したが天敵もなく健全です。コエビも元気です。しかしその他の水生動物は総て外来種なので、日本本来の生態バランスが完全に破壊されております。昨年柏市でビオトープと称して池の北部に浅瀬を作り葦を植え更に井戸水をくみあげました。この浅瀬はトンボをよび、蛍の発生を考えたようです。しかしアメリカザリガニ、外来系ミドリガメが天国のこの池では日本古来のエコロジーの再現は不可能なのです。ブラックバスや名も不明な魚類も大小数種見られますが、昔はどこの小川や沼でもみられた鮒、どじょう、メダカなどは一切見られません。本来の自然に近付けるには組織的なボランテアと行政との連携が必要です。

（亀谷清美）

いる風でもない。掛け声をかけて威勢よくグランドに飛び出していく姿は、なかなか様になってきている。今はまだ頭のてっぺんから出しているような声も、この一年できっと、たくましく落ち着いたものになっていくだろう。ビレジの皆様にも温かく見守っていただければ、と思う。